

# 偽りの銃弾

FOOL ME ONCE

ハーラン・コーベン 田口俊樹／大谷瑠璃子 訳

592P 2018年5月8日発売予定

玉ねぎみみたいな小説。

疑惑の多層レイヤー的サスペンス。

作家的な観点からいえば、風呂敷を広げすぎである。

これで最後にまとまるのか? しかしさすがコーベン、

巧い。さすがとしかいいようがない。

## ——堂場瞬一氏

ある夜、目の前で夫を何者かに射殺された元陸軍特殊部隊パイロットのマヤ。未亡人となり、2歳の娘を案じて自宅の子ども部屋に設置した隠しカメラに写っていたのは、2週間前に殺されたはずの夫だった。謎を追ううちに、マヤは4か月前に殺された姉クレアの秘密、そして17年前のある事件へとたどり着く……。

ハードボイルドなヒロインの生き様、予想を遙かに超える驚愕の結末。本作に惚れ込んだジュリア・ロバーツによる製作・主演で映画化が進む、「マイロン・ボライター」シリーズでお馴染み、米国きってのベストセラー作家による最新傑作サスペンス。

### 著者紹介

1962年生まれ、ニュージャージー州出身。1995年から続く〈マイロン・ボライター〉シリーズでエドガー賞、シェイマス賞、アンソニー賞を受賞、3賞を受賞した初の作家となる。近著8作はすべて〈ニューヨーク・タイムズ〉紙のベストセラー・リストで初登場1位を記録。作品は世界で6千万部以上を売り上げ、43の言語に翻訳されている。

